3月21日 月曜日 26日発行 昭和30年3種郵便物認可 1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

新聞 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の3
電話（代表）京橋（56）9646
（直通）京橋（ ）0432番（ ）3995
編輯局 東京都中央区銀座3の3
機械代表（43）1163番
東京簡易保険局 0701番

第3042号 昭和24年6月2日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日逓信特別扱承認第232号
（中国新聞社と下関タイムス社と共同印刷）・内外印刷株式会社印刷（東京都港区芝浦2の36）

台湾版

様の
東京瓦斯

本社・中央区八重洲一丁目三（東京瓦斯ビル）
電話（28）0111（代）・0121（代）・1121（代）

天気予報

今晩 北西風雨のち曇り やや冷え込む

明日 北西風曇のち雨 昨日朝9時現在 一昨日より低い

	9月21日	9月22日
最高気温	26.5	25.3
最低気温	15.6	15.2
午前6時	23.0	20.0
午前9時	25.0	23.0
午後0時	26.5	25.3
午後3時	25.0	24.0
午後6時	23.0	20.0
午後9時	20.5	18.0
午後12時	18.5	16.5
午前3時	17.0	16.0
午前6時	16.0	15.5
午前9時	15.6	15.2
降雨量（mm）	0	0

交渉は振出しへ

冷めた〝対ソ復交熱〟

対米関係強化に切変え？

鳩山 首相

重光 外相

松本 全権

代表に重光外相

AA会議 政府、22日に正式決定

人絹糸の値下げ

検査料相当額の二％ 輸出組合直ちに応諾

値下げ表 エリスロンと アイロダシン

中日関係に悪影響

董大使 中共代表訪日で警告

中日航空取決め 成立

濠 東南アジア派兵か

公表時期は不明

ダレス ポツダム会談文書など

ダレス長官

日曜論評

新内閣への期待

浅茅の宿

（114）

浜本浩 栗林正雄 画

佐藤医院 電話 京橋（56）5600番

今週の新店 明後22日 新開店

北京料理 琅琊（民族の味） 銀座4丁目 和田胡同 東宝前百貨店街 呼（46）七五六六 八二六二

花見相撲春場所 明22日～4月3日 モダン元祿花見踊 酒・50円 ビール130円 軽料理30円 大衆割烹 金楽 八重洲口前 電話（27）3705・1788

成吉思汗焼 羊肉専門 汗成吉思汗 銀座 大和田胡同 一葉百円

ロゴスキー ロシヤ料理 スープ自慢 羊の焼肉 銀座大和田胡同

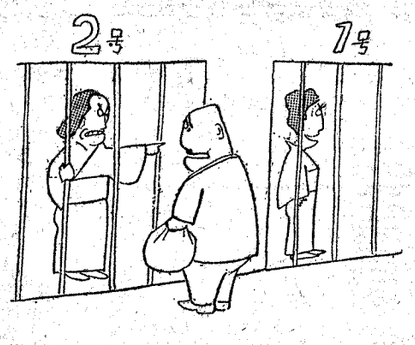
百年つづいている 川豆料亭 温泉旅館 牡丹荘 上野公園口 ㊥（83）一五五五

見晴しのよい新館完成！ 銀座 ㊥（56）一〇三〇 ㊥（56）一〇三一

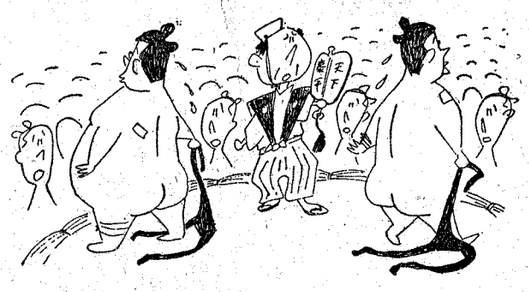
シェーク 銀座2の5（銀座館2階）

太泉 学士会館 （三原橋際） TEL（57）3813

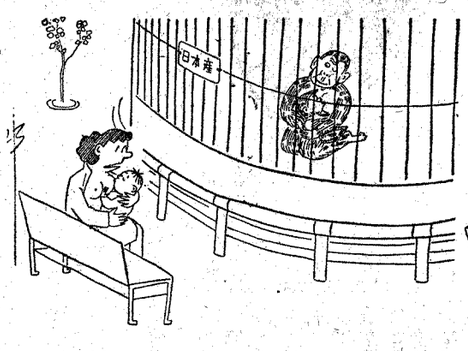
月 21日 火 22日 水 23日 木 24日 金 25日 土 26日 日 27日



選挙違反余聞　さかま　四　郎
『口惜しいツ!!二號のくせに、部屋を代えて貰つて…!!』



大相撲　—とり直しの一番—　大　淵　啓



母性愛　江沢ユージロー

実験　—ワイセツ文書?—　小野田　梵

新マンガ

スミ書き　構図自由
なるべく時事を織り込んだもの　締切日なし
本社編集局「マンガ係」宛　裏面に住所氏名及び題名明記のこと
三日　発表は廿七日付の本欄

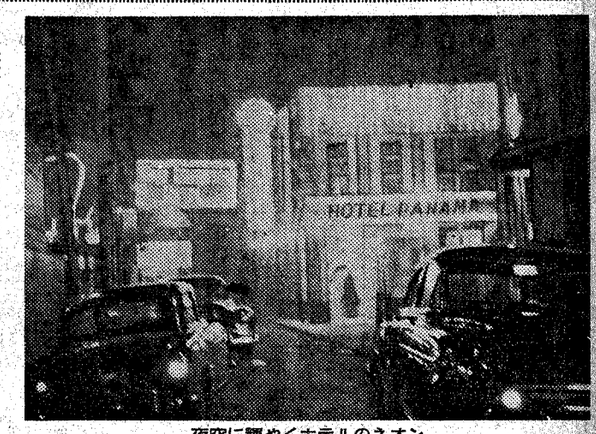
採用の分には薄謝を差上げます　課題マンガは月に二回あります　次回の課題は「入学式」です　締切は廿

投稿歓迎

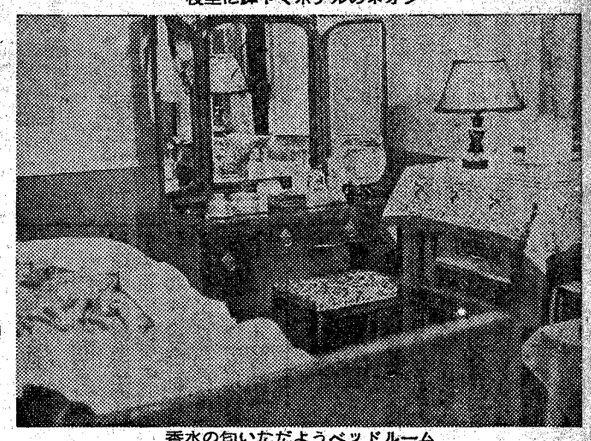
払下げの赤線街

動乱に置き去られた最近の本牧

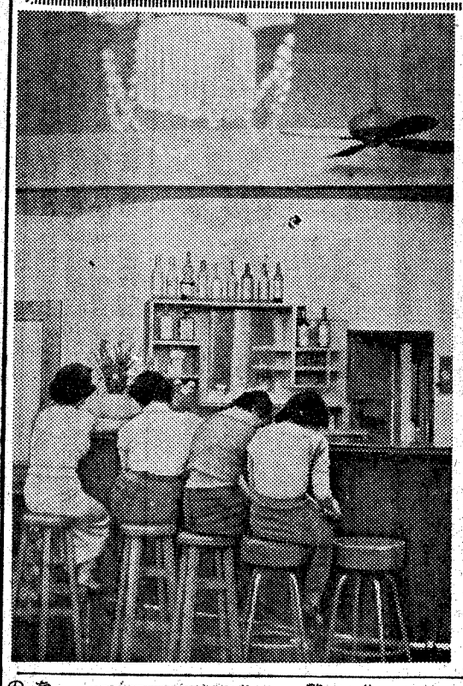
本牧といえば安政年間から横浜のチャブ屋として世界的に知られたところ、戦後はオリミットNO・1として外国人に知られて、朝鮮動乱で外国兵相手の人肉ブームを現出したが、その後外国兵の撤退で外人客も少くなり、近ごろは日本人客の勧誘に大童だという、ガムを噛み、ジャズを口ずさむ、アメリカ風なメーキャップの女達が、トランプ占いで客を待つ姿は「ツワモノどもの夢の跡」という感じだが…ある一日、日本人客を待つ国際赤線区域本牧ざいきんの表情を探ってみた



夜空に諢やくホテルのネオン



香水の匂いただようベッドルーム



暇な酒場ママさんを相手に誰を待つのか想い出のギターを鳴らす女、酒場ホールで「きょうは暇ネ」

殆どが日本人処女

全然判らぬ『吉原流儀』

テクニックは巧い

嫌われる身の上話し

○…ウェルカム"と横文字で書いたネオンのアーチをくぐると道の両側に並んだ外国名ばかりのネオンが夜空に輝いていかにも国際赤線という感じ、夜もまだ八時だというのに三軒程の道はひっそり静まって、山の手辺の住宅街を歩いているようだ、東京の赤線と違って女の顔はどこにも見られない時々タクシーが外人客を運んでくる、タクシーの運ちゃんがパイラー（ポン引）の役目を勤めているのだという、ホテルは四十一軒、この中で約三百人の女が商売？をしている

○…Sホテルのドアー越しに中を覗くと、入口脇に酒場があり、酒場ママさんと呼ばれる中年の女がいる、入口から四千円くらい、これは酒場ママとの交渉で決まる、

○…この付近には病院が三軒あり、女達は毎朝店主から強制的に病院で検診させられる、外国兵に病気を感染させると、その店はオフリミットで営業停止になるからだ、外人客が少くなって店主は日本人歓迎だが、女達は日本人をきらう、外国人なら日本兵が判らないから「シツコイわネ、この人嫌なヤツ」と悪口をいっても、男はニヤ〜笑うばかりだから楽だが日本人となるとそうはいかない

○…Nホテルの**S**子さんは「日本人はすぐ身の上話を聞くからいやなのよ」とワケを語ってくれたが、Dホテルの**K**子さんのように「日本の男も案外いいわね」と見直してくれるのもあるしかしこれは少い例でNホテルに日本の紳士方がカバンを持って入ったら、女達はみんな逃げてしまった、カバンを持っていたので税関署員と間違えたという話があるように、ここは日本人にとって未開地帯といえるようだ「外国人のシツコサに馴れているとみえて、ベッド・テクニックは相当のものだったよ」とは満ち足りた会社重役氏の感想ではあったが…

もとは13軒の休憩所

チャブ屋の起源・変遷

○…本牧チャブ屋の起源は安政五年、五国通商条約締結後、横浜に外人の遊歩道路が指定された名目だったが外国人の行動を監視するというスパイ的役割も持っていたという金を持った異国人の優々に目をつけた業者は女を置き、酒を飛ばるようになったはじめは近郷近在の娘達が店に出ていたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…当時は井桁様あったが、設備が悪かったので、下級船員が主な客だった、チャブ屋の名称はこのころ出来たもので、それまでは、チョップ・ショップ（小料理屋）と呼ばれていたが、ボン引で活躍した力車マンが、チョップを聞き違えてチャブと呼んだのがその語源だともいう、チョップと浜に外人の遊歩道路が指定されたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…本牧チャブ屋の起源は安政五年、五国通商条約締結後、横浜に外人の遊歩道路が指定された名目だったが外国人の行動を監視するというスパイ的役割も持っていたという金を持った異国人の優々に目をつけた業者は女を置き、酒を飛ばるようになったはじめは近郷近在の娘達が店に出ていたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…当時は井桁様あったが、設備が悪かったので、下級船員が主な客だった、チャブ屋の名称はこのころ出来たもので、それまでは、チョップ・ショップ（小料理屋）と呼ばれていたが、ボン引で活躍した力車マンが、チョップを聞き違えてチャブと呼んだのがその語源だともいう、チョップと浜に外人の遊歩道路が指定されたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…大正初期にホテル形式の建物になり上流外国人も馬車を駆って通うようになった、この頃は本牧以外にチャブ屋が六十軒も出来て、女も約三百人、その爛熟期である昭和廿年五月戦災でその影を失ったが、戦後社会的要求で外人兵を慰めるため、本町銅楽街で集団営業を始めたが、廿一年現在地に戻って、バラック建てで営業を始めた、一人の女に兵隊が列をつくるという盛況さだった、廿七年まで続いた朝鮮動乱の休暇兵で賑わい、現在の立派な建物をつくるようにまでなった

百万円級も相当

利益は折半、金がたまる女達

○…二階のルームは六畳の洋間でダブルベッド、三面鏡、電蓄、洋服ダンス、人形などが飾ってあるが、ダンスとベッド以外は全部女の持物だという、香水のニオイがふんわりただよってなまめかしい、なまってチャブと呼んだのがその語源だともいう、チョップと浜に外人の遊歩道路が指定されたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…本牧チャブ屋の起源は安政五年、五国通商条約締結後、横浜に外人の遊歩道路が指定された名目だったが外国人の行動を監視するというスパイ的役割も持っていたという金を持った異国人の優々に目をつけた業者は女を置き、酒を飛ばるようになったはじめは近郷近在の娘達が店に出ていたが、これが発展して明治十五年ころは勇総、相模などの海岸地方から女が出稼ぎに集り、濃い化粧で媚を飛ばるようになった

○…大正初期にホテル形式の建物になり上流外国人も馬車を駆って通うようになった、この頃は本牧以外にチャブ屋が六十軒も出来て、女も約三百人、その爛熟期である昭和廿年五月戦災でその影を失ったが、戦後社会的要求で外人兵を慰めるため、本町銅楽街で集団営業を始めたが、廿一年現在地に戻って、バラック建てで営業を始めた、一人の女に兵隊が列をつくるという盛況さだった、廿七年まで続いた朝鮮動乱の休暇兵で賑わい、現在の立派な建物をつくるようにまでなった

ビールのお酌をしないのはアメリカの習慣だそうだ…「日本の男の人にはどうサービスしていいのか判んないのよ」と女の一人がラッキーストライクをくわえ、ライターで火をつけてやる

昔々十六歳になるグルテという娘が森の中を歩いていましたある小川の近くまで来ると前夜の雨に橋が流されていました。どうしようかと悲しそうな顔をしていると「心配しなくてもいいよ」という声がしました。辺りを見回わすと二匹の鮭がいました。「私は魔法使いのために鮭にされた年若い王子です。さあ私の背に乗りなさい。川を渡りますから」というので、川を渡してもらいました「私を貴女の家に連れて行って、一晩中床の中に入れて暖めてください。すると魔法がとけて、元の王子になりますから」と鮭がいいました。連れて戻って母に話し、その通りにしますと、翌朝彼女の傍に美しい男が寝ています。「お母さん、来てください。昨夜の鮭が大きな王子様になっていますよ」と叫ぶと、母は首を左右にふりながら「泡流き男譚」…（オランダ）…

娘の知恵に感心して「そうだね。床の中で暖めると何んでも大きくなるものだからね」といいましたとき。めでたし、めでたし。

浪人街道

木村荘十　作
野口島明　画

(102)

権勢（二）

障子に、時々、鳥影がさして、庭にさえずりが聞える。

河内之介は、そんなことは、一向、気のつかぬ様子で、

「例のことは、田沼様も、尽力してやろうと、お言葉があったそうだ。だが、事成就のあかつき、公儀へ、異議を申立てて来るものなどあるまいなと念をおされた。あの方は腑路はとるが約束はやかましい。それでも啓之助が邪魔なのだ」

帯刀は、様子こそ尋常だが、何となく主に狎れ過ぎた調子で、

「お言葉ですが、啓之助のことはさほどお気になさることは御座いますまい。当人は一向に、自分がお大名の跡取だなどと、気づいている風は御座いませぬ。それより田沼様が折角そう仰有るなら、早速御当主様の御隠居を願出て、殿が御当主様の御養子に参上なさるのが上策で御座いましょう」

「兄を隠居させるというのか。兄は、そんなことを承知致すまい」

「御病気と申立てて、無理にでも隠居願いを出させまする。それに、御当主様の御養子に参上なさるのが上策で御座いましょう」

「兄を隠居させるというのか。兄は、そんなことを承知致すまい」

「しかし、啓之助は、大名の子なれて暖めてください。すると魔法がとけて、元の王子になりますから」と鮭がいいました。連れて戻って母に話し、その通りにしますと、翌朝彼女の傍に美しい男が寝ています。「お母さん、来てください。昨夜の鮭が大きな王子様になっていますよ」と叫ぶと、母は首を左右にふりながら

娘の知恵に感心して「そうだね。床の中で暖めると何んでも大きくなるものだからね」といいましたとき。めでたし、めでたし。

…その仕事は、御典薬の池端雲黒を味方に引入れて、狂気とでも、乱心とでも、如何ようにも計らいまして…」

「雲黒が承知するだろうか」

「池端雲黒は、田沼様のお引立てを受賞しなくては十分な収入を得られぬ状態で、御当主と啓之助を敵に廻して争うことは不利で御座います。殿は一刻も早く本城を乗取ることが先決問題で御座いましょう」

「恐れながら手前も左様考えます」

「手前も、それが急務と存じ申します」

「抜荷賞の儀も、昨夜のようなことが御座いましては、長くこれに頼るのもどうかと存じます」

家臣達は口々に云った。何れも次男坊を主にした不運が諦められず、自分の主人を一城の主として共に栄華を酌りたいのだ。

「やるか」

「啓之助のことは、本城をとってから如何ようとも処置することが出来ましょう」

帯刀は、自信ありげにそう云った。

モダン歳人記

情艶の和泉式部

三月廿一日は平安朝の艶麗な情艶歌人和泉式部の命日で、京都の式心院ではこの日式部忌が勤修される。式部は越前守大江雅致の娘で、和泉守橘道貞と結婚し、小式部内侍を生んだが、道貞とは別れ、赤ん坊の小式部を五条の町に捨てたという伝説もある。彼女は一条天皇の中宮上東門院に仕えこゝで冷泉院の皇子弾正宮為尊親王と大アツアツの仲になるが、親王も廿六歳で長保四年六月に薨ぜられた。

その翌年四月、式部が恋人を失って悶々としていると、親王の弟の敦道親王から橘の花が届いた。彼女は「懐しや去にし人の袖の香ぞする」などいいながら、遂に和泉式部日記一巻に溢れる絢爛たる恋物語をこの皇子とともに展開し、加茂の祭りには同じ車に相乗りで街を練り歩くという奔放さで噂われた。「ともかくもいはゞなべてになりぬべし、音にたてこそ見せまほしけれ」といった意気である。

その後、彼女は丹後守藤原保昌と結婚し丹後に下った。小式部が「大江山いくの道」と母を詠んだ時代だが、保昌も娘の小式部も彼女より早世したので、晩年は仏門に帰依して行いすましたという。

（鮭）

あすの運勢

三月廿一日

高島象山

▲一月生＝油断と慢心で物事進行困難災難を招く不和相剋背反多し改革異動は後に吉し結婚大によし

▲二月生＝努力と隣人と隣人と隣人

雨でかっかり連休日

心待ちの〝春の連休〟第一日の廿日は天気予報がピタリと当って届ころからの小雨、行楽の足にブレーキをかけたが、それでもターンパイクの東あさの日もしく都内の各駅はふだんの日曜日以上のヤキ満員さみせた

憎くや〝予報命中〟

それでも湘南へ七万人

○…連休第一日の東京地方の気象予報は「曇り、時にところ雨所により雷雨を伴う」というもので、あたりの予報は的中したが、雨量は予想ほどでなかったため、帰り道に降られた人は少なかった。

○…東京駅…国鉄東京駅の発表によると、午前八時から午後六時までに東海道線、中央線、東北線、高崎線、常磐線の各線から出発した人数は約十万人。

○…上野駅…国鉄上野駅の発表によると、午前八時から午後六時までに東北線、高崎線、常磐線の各線から出発した人数は約十万人。

○…都電…都電の発表によると、午前八時から午後六時までに都電を利用した人数は約二十万人。

○…都バス…都バスの発表によると、午前八時から午後六時までに都バスを利用した人数は約二十万人。

○…湘南…湘南電鉄の発表によると、午前八時から午後六時までに湘南電鉄を利用した人数は約七万人。

○…箱根…箱根登山鉄道の発表によると、午前八時から午後六時までに箱根登山鉄道を利用した人数は約三万人。

○…グランドエビス…グランドエビスの発表によると、午前八時から午後六時までにグランドエビスを利用した人数は約三万人。

雨にたたられた子供連れ（教育屋屋内にて）

肥料小屋で四晩暮す

実父が差入れ　脱走犯人郷里で逮捕

城南軒なみ荒す

アキ巣で80件六百円

ハチ公春を嘆く

渋原な男女に　我輩はウズウズ

渋谷ハチ公前

興奮した運転手

美人客に　車チン代儲けの取引でブタ箱入り

防犯新聞社員が恐喝

クビにした女社員に〝因縁〟

元國鐵係長が盗む

眠機内から鉄材20トン

14万円は

ソーセージ代？

愛の入学祭

豊島園で

食住欲し

さに嘘八百

廿日隅田へ

中労委の調停持ち越し

女の声をしめ殺

中野の火事

死者二名に

地震

独眼灯

改造五月号発行か

犬猫

東京の箱根

綠風園

川梅

三田ダンス教習所

フジダンス教習所

上野クロネコ

旅館親和荘

性映画大会

愛のお荷物

サンプーン

内外案内

続情炎の天守四城

（62）

岩船忠雄　寺本忠雄　案

竹馬の友（完）

「昌枝さん、昌枝さんの心の奥深くに、どんな悲しみが秘められているのか、私には分かりません。でも、私は、昌枝さんの心の中に、どんな悲しみがあっても、それを乗り越えて、明るく生きていただきたいと思います。私は、昌枝さんの心の中に、どんな悲しみがあっても、それを乗り越えて、明るく生きていただきたいと思います。

私は、昌枝さんの心の中に、どんな悲しみがあっても、それを乗り越えて、明るく生きていただきたいと思います。

「昌枝さん、昌枝さんの心の奥深くに、どんな悲しみが秘められているのか、私には分かりません。でも、